
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 121 号(2023. 2.24)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第121号をお届けします。今回の活動組織紹介では、①地球温暖化防止に関する授業の一環として、地域の中学生と植樹活動を行うこと等により、地域のつながりが一層強化された組織、②季節ごとに植栽する植物を変えることで通行人を楽しませているなど、活動により地域内で話し合いの機会が増えた組織について紹介します。女性役員へのインタビューでは、非農業者の女性理事となり、組織内のコミュニケーションを大切にし、女性でも参加しやすい活動に参加を呼びかけている事例について紹介します。事務局からは前回お知らせした「小学生向け学習動画を制作！～田んぼの多面的機能について動画で楽しく学ぼう～」について、まだご覧になっていない方向けに一部内容を紹介いたします。

--第 121 号の目次-----

1. 活動組織の紹介

☆^{たわら}田原^{さと}の郷守る活動組織（大阪府^{しじょうなわて}四条^{しもたわら}畷市下田原）☆

☆^{かなや}金屋^{ほんじょうし}地域農地保全協議会（埼玉県本庄市）☆

2. 女性役員へのインタビュー

☆上原地区資源保全の会（沖縄県うるま市）☆

3. 小学生向け学習動画を制作！

～田んぼの多面的機能について動画で楽しく学ぼう～

（編集後記）

■ 1. 活動組織の活動紹介(1) ～^{たわら}田原の^{さと}郷守る活動組織(大阪府^{しほうなわて}四條^{しもたわら}畷市下田原)～ ■

～ 地区概要 ～

大阪府東部に位置する下田原地区で活動している。活動範囲は、田 20.6ha、畑 4.9ha、農道 4km、開水路 12.5km、パイプライン 1.3km、ため池 6 箇所となっている。



維持活動の様子

～ 主な取組 ～

- ◎ 当地域は農業者の高齢化や担い手不足により、農業者が減少する等の課題を抱えています。このような状況で平成 29 年度より活動を開始し、地域住民と協力しながら、農業用水路、農道、ため池等の保安全管理を実施しています。管理困難な急な法面等が多い当地域における農地保全に大きな役割を果たしています。
- ◎ 資源向上活動については、地域の小中学校と連携し、小学生と水辺の生き物調査を農村環境保全活動として行っています。また、地球温暖化防止にかかる授業の一環として、中学生と地域における植樹活動等を実施しています。
- ◎ 交付金による活動を通して、子供たちの参加もあり、地域住民の農地に対する関心の高まり、地域のつながりが今までより一層、強くなりました。今後も地域の農業者が快適に農作業を続けられる環境を維持すべく活動していきます。



小学生との水辺の生き物調査



地元中学校との植樹活動

【田原の郷守る活動組織 会長 丸石 正】

編集担当 SDGs コメント

地域の小中学校と連携して生き物調査や植樹活動に取り組むことは、農村環境を保全するとともに、子供の達の持続可能な地域づくりへの理解も深まることから目標4(地域内外の人に質が高い教育、生涯学習の機会を提供する。)、目標 12(持続可能な生産・消費を進める。)に貢献しています。

自然豊かな地域づくりを応援します！



■ 1. 活動組織の活動紹介(2) ～^{かなや}金屋地域農地保全協議会(埼玉県本庄市)～ ■

～地区概要～

埼玉県北西部に位置する本庄市内で活動している。

活動範囲は、田 62.37ha、畑 37.23ha、用水路 10.4km、排水路 11.2km となっている。

～主な取組～

◎本地域は第2次農業構造改善事業完了から40年が経過し、近年では高齢化や担い手不足により、用排水施設の適切な管理が困難な状況になっていました。そこで平成29年度から本交付金を活用し、農業者だけではなく、土地改良区や NPO 法人が構成員となって農地維持活動、資源向上活動に積極的に取り組んでいます。

◎農地維持活動については、地域内で事前によく話し合い、活動箇所の優先順位を決めて実施しています。徐々に営農環境が向上し、排水機能が改善されています。

◎資源向上活動については、遊休農地を活用した植栽活動を行っています。夏はひまわり、秋はコスモスが地域の農村環境に彩りを加えています。カメラで撮影している方々も見受けられ、地域のフォトスポットとして、通行人を楽しませていきます。

◎本交付金の活動を通し、地域内で話し合う機会が増えたことで、地域コミュニティが形成されています。これからも、次世代に美しい農村環境を引き継ぐために、地域住民一丸となって共同活動に取り組んでいきたいと思ひます。

【金屋地域農地保全協議会 代表 田村哲夫】



水路の草刈り作



排水路の泥上げ作業



植栽活動(播種)



ひまわりの開花状況

編集担当 SDGs コメント

農地維持活動により、営農環境や排水機能が改善され、地域資源の保全に取り組むことで目標2(持続可能な農業生産を支える)に貢献しています。また、植栽活動によりフォトスポットとして地域の方にやすらぎを与えていることが目標3(やすらぎや福祉の機会を提供する。)に貢献しています。

四季の彩りが感じられる農村風景は癒されますね！



etc.

■2. 女性役員へのインタビュー ～上原地区資源保全の会(沖縄県うるま市)～ ■

組織の概要

活動範囲：畑 231ha

対象施設：水路 3.0km 農道 53.3km ため池 1箇所

活動開始時期：平成 26 年

～ インタビュー ～

○話し手 理事 宮里 亜矢子氏

Q：役員に女性が就いたきっかけを教えてください。

A：平成 29 年に桃原自治会長に就いたのをきっかけに
上原地区資源保全の会代表（大屋氏）より声を
掛けてもらい、役員に就任しました。

Q：役員を引き受ける際に抵抗はありましたか？

A：特に抵抗はなかったです。

Q：組織を運営する中で苦労したことを教えてください。

A：高齢化で若い人が少なく、活動する際に人手不足に
なる為、地域外に声かけをしたりしていますが、
若い人を集めることに苦労しています。

Q：役員として心がけている事を教え下さい。

A：農業についての知識があまりないため、できるだけ
農業者とのコミュニケーションを大事にしています。
将来は、農業をしたいと思っています。

Q：特に力を入れて取り組んでいる活動内容はありますか？

A：農地やビーチ周辺の不法投棄が多く、不法投棄をな
くすための活動に力を入れています。不法投棄防止に
向けた張り紙はもちろんのこと、定期的に清掃をして
います。



理事 宮里 亜矢子氏



インタビューの様子

左：理事の宮里氏

右：うるま市農水産整備課



地域の草刈

(作業前の場所・安全確認)



地域の草刈り

(農道の草刈り)

Q：役員（又は構成員）に女性が含まれている場合、女性が活動に参画することによって活動はどのように変わりましたか。

A：女性だからということではありませんが、意見を率直に話して組織内でのコミュニケーションを大切にしています。



地域の児童との交流
(プランターへ花の植栽)

Q：女性の活動への参画に向けて、どのような工夫を行いましたか。

A：草刈り機を使える女性の方もいるので、草刈りをはじめ、刈った後の清掃、花の植栽など、女性でも参加できる活動は呼びかけをしています。



地域の児童との交流
(記念碑前の花の植栽)

Q：活動を行ってよかったことを教えてください。

A：活動を通して、地域に貢献していると実感しています。

Q：今後の展望や目標を教えてください。

A：地域の特産品がさとうきびだけなので、遊休農地を利用してさとうきび以外の特産品を出したいです。

【うるま市 農水産整備課】

編集担当 SDGs コメント 

ビーチへの不法投棄を防ぐための清掃等の取組は海洋ゴミや海の汚染の減少へとつながることから目標14(海洋・海洋資源を保全する)に貢献しています。また、草刈りや花の植栽に女性が参加し、女性が主体となって活動していることから目標5(女性の参画により地域や活動組織の取組の可能性を広げる)に貢献しています。

多様な人材が地域において活躍できる活動を応援しています！



etc.

■3. 小学生向けに学習コンテンツを公開！

~~マンガや動画で農業や農村、農業遺産等について楽しく学びませんか~~■



小学生向け学習動画を制作！ ～田んぼの多面的機能について動画で楽しく学ぼう～

活動組織の皆様のために、田んぼの持つ大切な役割や魅力について子供たちが楽しく学べる動画を作成しました！

農業学習の導入や、田植え体験の事前学習、家庭学習教材などにぜひご活用ください！

**Youtube
で公開中！**

動画の内容をちょっとだけご紹介！！

第1章 米を作る田んぼ



大切な米作り。田植えから稲刈り・ご飯になるまでをご紹介します！

第2章 生きものの命つながる田んぼ



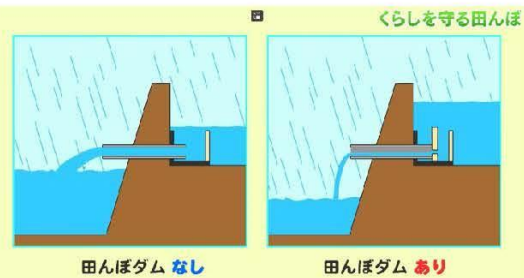
田んぼはさまざまな生きものが暮らす場所。生きものたちの命のつながりをご紹介します！

第3章 田んぼに水がたまるのは？



田んぼのあぜを守り、水をためるための取組をご紹介します！

第4章 暮らしを守る田んぼ



生きもののすみかになっているだけじゃない！
田んぼダムの仕組みを動画で解説！

URL : https://www.youtube.com/watch?v=CVyRjZ9o_gs&t=219s

<お問合せ> 農林水産省 農村振興局 整備部 農地資源課
多面的機能支払推進室

TEL: 03-3502-8111 (内線5618)



【多面的機能支払推進室】

■ 編集後記 ■

読者の皆様こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。電気代の値上がりが続いているためエアコンの使用を控える等をして節約しています。そのため朝が寒くてブルブル震えながら着替え、出勤の準備をしています…。早く春になって暖かくなれないかなと思いつつ毎日過ごしています。



2月の上旬に宮崎県に出張して参りました。本交付金が役立てられているというお話や、より良く本交付金を運用するためのご要望等、組織の方々の声を直接伺うことができ、貴重な機会となりました。常に現場の方々の声に耳を傾けていきたいと改めて感じました！
厳しい寒さが続きますが、どうぞ皆さまご自愛ください。それでは次号もお楽しみに！

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからもご覧いただけます！→



◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf



◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版 SDGs アイデアシート（案）◇

SDGs アイデアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省農村振興局整備部農地資源課
多面的機能支払推進室（担当：近藤、藤原）
TEL：03-3502-8111（内線5493）